

## 触診・施術のコツは身体の使い方にあった！

### 自信が持てるセラピストへ セラピストパフォーマンスアップセミナー開催

触診・施術に自信が持てない状態から脱却するための方法をお伝えします。



#### このセミナーで得られるもの

- 触診・施術に自信がもてるようになる
- 簡単に力を伝えられるようになり自分の身体が楽になる。
- すぐに患者さんへの姿勢・運動指導にも活用できる最新の体幹トレーニングノウハウが手に入る

まずは動画で変化を御覧ください（注：奉身塾 youtube チャンネルに飛びます）

<https://www.youtube.com/watch?v=I8h6wTdiEkc>

前半はインナーマッスルを収縮して腕を上げようとした状態です。後半は腹圧をかけて腕を上げようとした状態の動画です。

動画では伝わりづらくてすみません・・・(^o^;)

今回のセミナーでお伝えするのは体幹のインナーマッスルを収縮させずにハイパフォーマンスを発揮する方法です。この方法により手足を踏ん張らなくても、大きな力を発生させ、効率よく相手に力を伝えることが可能となります。

## セラピストのお悩みを解決します！

患者さんの触診・施術において、

- ・ 左右どっちが悪い？
- ・ どこが硬い？
- ・ どこが本当に悪いところ？



とイマイチ自信がモテないということはありませんか？

今回は、そんな悩みを解決する方法の1つとして、体幹の使い方をお伝えします。

## 触診・施術に自信がモテない理由！

触診・施術が上手く出来ない大きな理由の1つに、

上肢だけでなんとかしようとしているということがあります。

野球で言えば手投げのピッチャーという感じ。  
プロ野球をみていると全身でボールを投げています。  
まるでムチのように全身を使っていますよね。  
筋肉を緊張させまくっては、  
このような高いパフォーマンスは不可能です。



筋肉が収縮すると、当然筋肉は縮みます。筋肉が縮むということは、自分の身体も縮む方向に作用します。対象に力を伝える必要があるのに、自分の身体が縮んでいては十分に力を伝える事ができません。

筋肉を収縮させると、力（負荷）が一部分に集中していくようなイメージがわきませんか？内側に籠もるような感じです。



触診・施術においては、対象である患者さんの身体の状態を把握する必要があります。そのため、自分の腕の筋肉を緊張させて自分自身の身体に籠っている正しい情報を相手から得ることが難しくなります。

自分の身体の状態や使い方、姿勢の変化によって、脳に伝わってくる感覚は簡単に変わってしまいますから。

安定した感覚を得るためには、上肢の力に頼った身体の使い方から脱却する必要があります。ではそのための力源はどこからかと言うと、【体幹】です。

ただ、体幹を鍛えればいいというわけではありません。一般的に言われている体幹トレーニングをすればOKではないのです。ドローイングやインナーマッスルのトレーニングも、【負荷を集中させる体幹使い方】でしかありません。

人は生まれた時は持っていた【体幹】の使い方を思い出す必要があります。

赤ちゃんは手足を空中に持ち上げたまま寝る子もいます。とんでもないパフォーマンスですよ？普通なら数分も持たずに腕が疲れてしまいます。



このパフォーマンスは全身を用い【負荷を分散させる使い方】ができているからこそ可能なものです。

今回のセミナーでは、赤ちゃんが持っているこの【負荷を分散させる体幹の使い方】を実践を通してお伝えします。

他にも、5つ目のインナーマッスルと言われている筋肉のご紹介や、体幹の構造を理解する上で重要な2つの膜構造などもお伝えします。

## 開催概要

日時：2018年4月22日日曜日 13時～16時

場所：日本ガイシホール 第一研修室

<http://www.nespa.or.jp/hall/access/>

参加費用： 6,000円 → 4,000円（早期割引中！）

人数：30名

必要なもの：ヨガマットもしくはタオル、動きやすい格好

お申込みはこちらから

<https://ws.formzu.net/fgen/S39807837/>

## 参加特典



### 痛みアプローチ構築セミナー動画プレゼント

痛みへのアプローチの考え方や施術の方法をまとめた動画（約1時間分）をプレゼント！

## 澤田の想い

僕は理学療法士として働き始めて3年目に退職を真剣に考えていました。臨床で結果がでず、患者さんから拒否されることが度々あったからでした。なんとか楽になってもらいたいと思っているのに、かえって痛みを強くしてしまう厳しい現実・・・。



今考えれば、そうなって当然の内容を提供していたので、その患者さんには本当に申し訳ない事をしました・・・。ただ当時は、解決策がなく自分自身も本当にツライ思いをしていました。僕以外にも同じ様な思いをしているセラピストも沢山見てきました。そのような思いをセラピストの方にして欲しくはありません。

セラピストは本来人の役に立てる素晴らしい仕事であり、それを楽しみながら進化していく仲間を増やしていきたいと考えています。

今回お伝えする内容は、古武術をベースとした運動や施術を教えて貰っている和身塾で得たものと、ここ最近欧米から入ってきたコンセプトを融合させた内容です。

まずはご自分の身体で体感してみませんか？当日お会いできる事を楽しみにしております。

奉身塾塾長

澤田哲也

